

「みどりちゃんを救う会」にご支援を頂いている皆様へ

日頃より碧（みどり）と私共を支えて頂き、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

募金活動の最中に渡航する状況となり、まさに後ろ髪を引かれる思いでしたが、日本国内ばかりか海外にまで支援の輪が広がり、お陰様で目標金額に達する事ができました。

渡航して約1ヶ月が経ちました。米国に到着して5日目の4月29日に補助人工心臓を取り付ける手術を受け、その後も毎日さまざまなことが起き、気持ちの落ちつく余裕はありませんでした。

碧（みどり）は重症で、補助人工心臓を取り付けた現在も予断を許さない状況です。でも皆様の応援を追い風に、碧の回復力を信じたいと思っています。

ここアーカンソーでも、多くの方に親切にして頂き、碧の看病に専念できる環境にあります。大変ありがたい事です。このような状況で待機できますのも、日本の多くの皆様の心温かいお気持ちのおかげと思います。改めて厚く御礼申し上げます。

2008年6月8日

アーカンソー小児病院内

相原都史子（母）